

飛驒コンロ 向き合う肴 合羽橋

いへの

あきの

さかな かっぱばし

家飲みせむと 誘う秋野よ

令和四年十月一日

大中臣正比呂



浅草の合羽橋に行つて仕入れたコンロには、「菊慈童」の歌が書かれていた。

秋の夜には、菊花の彼女を誘い、肴をあぶり、「我も飲んで差そうよ。」